


## リズム遊び

## 狸の腹つゞみ

子供どリズム こんな自然な結び付きはありません、幼稚園で保母が或る意圖の下に行ふ事柄の中で子供が一番無條件で喜ぶのがリズム遊びです。ピアノに合せて手を打つのみでも足拍子をとらせるのみでも嬉しさうにはずむ子供達。保母の一寸した工夫で之はもつと〜楽しくリズム訓練などいふ意圖を少しも表に出さずに遊びの中に自然に行ふ事が出来ます。そこで年少組でも出来る程度の狸の腹つゞみといふリズム遊びを考へて見ました。

リズム  


## 道具

指導者は積木又はタンバリン

子供は原則として道具なし、軽い五種立方位の積木があつたら使はせてもよい。


## 方法

何時ものやうに皆で大好きなお唱歌を歌つて楽しんでゐる中に先生も皆も狸になつて遊びませうと御相談が定ります。

「ね、狸の腹つゞみ知つてゐるでせう、皆叩いて御覽なさい」

## みごり會音楽研究部

子供達思ひ〜に自分のおなかなを叩く、大體ボンポコボンポコ〜といふ様に

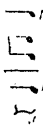
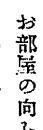
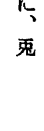
なる、之を先生が整  として指導す……

「向ふのお山にお月様がお沈みになり烏もカア〜お家に歸りました、すると野原のすゝきの向ふからきれいなお月様が出て來ました。さあ〜又今晚もお月様にきいて頂く爲に腹つゞみのおけいこしませうね、お姉さん狸お兄さん狸も圓くなつて坐りませう。」

先生はお爺さん狸になつて積木を持つて皆の間に坐ります。

「さあみんなお爺さんの眞似をするのだよ、ボンポコボンとおなかなを叩きませう。」

この時アクセントをしっかりと教へます。

ポンをきつくポコはそつと、その次のポンは又大きな音で、と説明しあとは指導者が  皆の嬉しさうな事、多少身振を大きくすると  お部屋の向ふに、兎子供達はついて來ます。  さんのお影のうつた

金色のお月様を見てどの狸さんも一生懸命です。大體調子の揃

つた時、今度は良い音のするように拍手で致します。拍手でも子供は充分腹つゞみの感じで嬉しうにしておきます。

おしやべりしたり、よそ見したりする悪戯狸さんはお下手でお月様に笑はれますから。

立ち上つてお爺さん狸とおけいこを致します。お友達が應援して下さるので忽ちよく揃ひます(少しも弱小感を伴はずに子供はよくなります)。次は男女両側に別れて競演させます。ごちらの狸さんがよく揃ふかしら、お爺様が審判官ですよ、扱てその次は一小節目と二小節目を分けて叩いて見ます。

上手に出来たら子供同志でさせ先生は指導します、第一小節は男児、第二小節は女児といふ風だ。

も少し上達した場合には、一小節内の分解をして見ます。

之の逆も致します。此の場合にもアクセントは嚴重に注意致します。拍手で良いと思ひますが適當

な大きさの積木が数多くある場合にはカスタネットの代りに使はせます。子供はリズムの面白さと想像の面白さにひかれて五分一七、八分は樂に興味を持續致します。勿論この遊びの途中では先生はたへず楽しい狸の腹つゞみのイメージを子供に與へなければなりません。

お天氣の良い日にはお庭に出て陣陣を作り皆で足拍子をも加へて遊びます。

尚、之を度々繰り返して充分身についたら又皆でリズムを考へて變つたのを致します。子供は随分楽しい複雑なりズムも考へ出します。符點のついたのでも、子供は充分こなしますから、子供の考へ出したリズムを先生が整理して皆で遊びますと一層楽しいと思ひます。

なれたらリーダーも子供の中から選んでさせます。リズム遊びは本當に大人も子供も楽しいものです。(岩本とよ)

### リズム遊の細目

教材

A  $\frac{2}{4}$

B  $\frac{2}{4}$

C  $\frac{2}{4}$

方法 樂器(ピアノ、タンブリン、ミハルス、太鼓)を用ひず

保姆と子供對にて速座に出来る方法のみを記す。

- (一) 保姆の周りに子供を集め腰かけた儘にしてする範圍のもの
- (二) 遊戲室の様な廣い場所にて歩いたりする方法、先生がお手なたゞきますから其の通りして御覽なさいと豫め云ひ(はじめ)

A  $\frac{2}{4}$

- 一 強部は大きく拍手弱部は小さく拍手
- 二、強部は大きく拍手、弱部は片手握つて打つ
- 三、強部は大きく拍手、弱部は片手二本指にて打つ

- (二) 歩く、強部は右足(便宜上)にて床を強く打つ(ふむ)弱部は左足を右足にそへ揃へる。



- (一) 拍手 Aの拍手と同じ

休みの所は両手胸に組みやすむ



口と拍手  $\text{パン パン パン}$



口にて唱へつゝ拍手なし休みは両手胸に  
首……強部は首上に  
弱部は首前に

休みは中央に真直に

- (二) 歩く Aの(二)と同じ

跳躍 一、強部は兩足一緒に其場にて跳躍弱部で足踏

み、休みは動かず

- 二、強部は兩足一緒に跳躍、弱部はチンチン



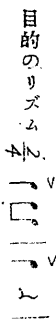
A Bの方法を適宜用ひてなす

目的 以上の三つの教材中二つを組み合わせる(例へばA B、B C、A C)以上に示せる各種の方法にて数回なす、又A B Cを續けてなす事も致しました。

但し、幼児はあきやすい爲精々五分内で終らせませう、又順次教材を變へて致します。

效果 眼を見張り耳を傾けて注意集注して喜々とし其上リズムに對し敏感になります。(二木富美子)

### 「雨だれ」



#### 誘導

雨が降つて居ますね、靜かにしてお外を見てゐませう。雨が可愛い、おうたを歌つてゐますでせう。チツパタツパ 云ふのは雨だれさんね、「雨が降つて、うれしいな。」

雨だれさんのお家では、これから皆で、「お散歩です、さあ皆んな早くおいで」お父さん雨だれが 一番始めに 元氣よく

ピョンピョンと お屋根から飛び下りました。つゞいて仲よし兄弟の雨だれが、ピョンピョンと終りに やさしいお母さん雨だれが、ピ

ョンピアンで おまねをして見ませうか(前記のリズムを弾く)面白いでせう、もう一度きかせませうか(ピアン くり返し)。

今度は皆さんも、一緒にお聲も出してピョンピョンと云つて下さい

ね



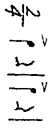
(子供達と一緒に拍手をする)

そう よく出来ましたね、あんまり面白さうなので 今度は  
お庭の八ツ手におどまり して居た 雨だれさん達も 杉の木  
てつべんの雨だれさんも お窓の所の 雨だれさん達も 方々の  
雨だれさん達が まねをし始めました、タン タタ タン タン  
タタ タン

(数回くりかへす、机の上を指でたたく)

お父さん雨だれは 大きいから 大きい音で子供の雨だれは  
小さいから 小さい音で お母さん雨だれも 大きく元氣に ね  
(数回繰り返して練習 その間 拍手、又はおにぎりや机等を打  
ち、又は 打楽器等を使用してもよい、要はアクセントを明瞭に  
打つ事)。

お上手に よくそろうた 雨だれさん、今度はね、いゝ氣持にな  
つて お歌を うたひ始めました。こんな歌 今の様に拍子を取  
つてきいて下さいね(ピアノにて雨の歌を弾く 杉山米子作詞・小  
松耕輔作曲の「雨」がよろしい様に思はれます、段々に指導者が歌つ  
て弾くと 子供達も やさしい歌詩です)のですぐ  
まねて歌ひ始めますから歌ひながらリズムを取  
らせませす。すると、リズムはごかくみだれて來て



と強部のみを打ちやすくなりますから赤ちやんを迷子にしては可  
哀さうで 休が



すよと注 なくな  
意しま りまし

で一家族と云ふ事を話し次のリズムとつながつてしまはぬ様に、  
注意をあたへ、又方法としては、その所で手を横に拂ふとか、う  
なづくとか、他の動作を入れると明に、休止できると思ひます。

(酒井信子)

### リズム遊び指導案

- 圓を書いて、園児指導者とも圓周上に坐す。
- 話から引入れてゆく(雨の日ならばなほ都合がよいと思ふ)
- 使用リズム



○太鼓・積木・金だらひ・など手近のたゞいて音のするものを用意  
してをく。

元氣な坊ちやんですよ、お名前は武夫さん。

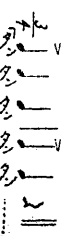
幼稚園の生徒さんです。朝元氣に跳び起きましたらお窓の外の  
木もお隣の弘子さんのお家のお屋根もぬれて光つてゐます。「アッ  
雨だ。」と

云ひながらお窓を明けて空の方をよく見ますと細い細い雨が溼

山降つて來ます。しとしと靜にとても靜に。「靜かな雨だなあ。」  
(拍手で弱くりズムをとる。二、三回でよい。)

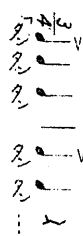
「オヤ……」武夫さんが何かしらと思つて探しましたら弘子さん  
のお家のお屋根から雨だれがおちて石にぶつかると音だつたので  
す。(拍手で稍く強くリズムを二、三度繰返す)

「雨だれだ。面白いなあ」



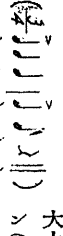
數回元氣よく云ひながら強く拍手  
でリズムをとる。

「面白いな雨だれは太鼓みたい  
だ。そうだ雨だれは太鼓の音だ。太鼓をたたく兵隊だ。こうやつて

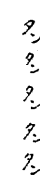


たたくんだな……手を握り兩  
手一緒に前で上下する。云ひな  
がら數回太鼓をたたく氣持で、

皆さんも一緒にたつきませう。元氣よく



大太鼓はタン(強い聲で)小太鼓はタンタ  
ン(弱い聲で)あまだれ兵隊元氣に……



園児も口でリズムをとりながら指導者

同様ひさの上で太鼓をたたく。五、六回繰返すリズムの強弱を動作  
の大小と聲の強弱で區別して前同様太鼓をたたく動作を指導者が  
示した上で、園児に續けて繰返させる。

あまだれ兵隊は元氣に歩きますね。皆さんも太鼓に合せて元氣  
に歩ませうね。……

指導者圓内に入り、皆を立たせ圓周にそつて向かせる。そして

手は前同様太鼓をたたく動作をなし足は左(強)右(弱)左(弱)  
右(強)左(弱)休んで右・左右……とリズムに合せて前に出して  
歩く。指導者が少し歩いてみせゆつくり數回繰返しなれて來た時  
に普通の速度にする

今度は拍手に合せて……拍手でリズムをとり前同様歩かせ其  
他いろ／＼音の種類をかへてあきるまで遊ぶ

積木に合せて歩ませう(その他いろ／＼變へて)

さあ雨がやみました。……(リズムをとるのをふとやめて)  
あまだれ兵隊はみんな地面にもぐつて消えてしまひました。又  
一緒に遊びませうね。  
(小島七重)

### 告 會 八 月 號 休 刊

本誌八月號は休刊し、九月に於て、八・九  
兩月號を合冊發刊いたします。

昭和十七年七月

日本幼稚園協會